

またまた鶴の会のお茶会に行ってきました。

今回は、小椋先生と一緒にたため3番目に座ることになりました。こんなに上座に座ったのは初めてなので緊張するかと思いきや、リラックスしたままでした。

茶箱の点前が披露されました。箱の中に片づけるとままごと道具のようになるのです。

帰りに大丸によると茶道具展をしていました。ひとつだけいい釜だなと思う釜があり、60万円の値段が付いていました。こんな金額になると見ることしか楽しめないで、ゆっくり見ていると隣の50万円のものはえらく風合いが違っていた。もう一度値札をよく見るとじつは6000000円(600万円)と書いてあるのです。誰が買うのだろうと思いながら、いつまでも売れ残り店先に展示したままであることを願うのでした。

